

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第286号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2010年3月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

卒業おめでとう!

高校・中等部第3学年 各賞受賞者決まる



高 校

卒業生総代

3組 坂井 千紗(前列左) 北区立岩淵中学校出身

東海大学総長賞・東海大学奨学生

9組 鈴木 大吉(前列右) 足立区立入谷南中学校出身

東海大学生徒会功労賞

4組 大沼 雄貴(後列左) 足立区立東綾瀬中学校出身

優等賞

9組 川村 亘(後列中) 川崎市立京町中学校出身

3ヵ年皆勤賞(代表)

5組 戸張 翔太(後列右) 目黒区立第十中学校出身



中 等 部

卒業生総代

A組 服部 渚沙(前列左) 横浜市立神大寺小学校出身

東海大学総長賞

A組 西 真澄(前列右) 横浜市立駒岡小学校出身

優等賞

A組 細波 柚花(後列左) 市原市立八幡小学校出身

3ヵ年皆勤賞(代表)

A組 黒澤 つむぎ(後列右) 港区立御成門小学校出身

2009年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました卒業生総代、東海大学総長賞、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3ヵ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前々日の「3年生を送る会」で、以下の19名の日頃の努力に対して表彰します。おめでとう。

高 校

東海大学特別奨励推薦(代表)



6組 原田将利

川崎市立南河原中学校出身

3ヵ年精勤賞(代表)



4組 永井淳子

品川区立東海中学校出身

1ヵ年皆勤賞(代表)



1組 渡邊 麻里衣

渋谷区立松濤中学校出身

1ヵ年精勤賞(代表)



8組 小松 晃

荒川区立第九中学校出身

東京都知事賞



2組 飯田真理恵

大田区立糀谷中学校出身

日本私立中学高等学校連合会賞



7組 宮坂莉沙子

台東区立忍岡中学校出身

東京都私学財団奨励賞



9組 榎本 充

中央区立佃中学校出身

東京都体育協会優良生徒



6組 日比裕美

世田谷区立松沢中学校出身



7組 澤 祐基

府中市立府中第一中学校出身

東京都高等学校野球連盟賞



3組 廣野慶明

新宿区立西戸山中学校出身

東京都高等学校文化活動優良賞



2組 小野愛菜

目黒区立第一中学校出身



3組 平野夏美

大田区立大森第八中学校出身

東京都高等学校体育連盟柔道賞



1組 伊原理乃

共立女子第二中学校出身



3組 前田拓哉

練馬区立貫井中学校出身

東京都高等学校軽音楽部連盟賞



8組 浅井貴将

さいたま市立本太中学校出身

中 等 部

3ヵ年精勤賞(代表)



A組 木賀菜々美

横浜市立池上小学校出身

1ヵ年皆勤賞(代表)



B組 磯和優海

川口市立元郷小学校出身

1ヵ年精勤賞(代表)



B組 本山美来

北区立王子第一小学校出身

日本私立中学高等学校連合会賞



B組 中村 岬

川崎市立宮前小学校出身

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。

卒業する皆さんへ

卒業生へ



小林 一貴

生徒会長 2年1組
川崎市立平間中学校出身

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間でしたが、本当にお世話になりました。私はいつも、どんなときでもすぐ立派な先輩方の姿を見てきました。その姿は、常に私を含め、後輩たちの目標でした。また私たちが間違

違ったことをしたときには強く指導していただいたり、困って悩んでいる時には、助けていただいたりと信頼ができる先輩方に支えてもらうことが多かったと思います。「文武両道」という中で、熱心に努力なさっている先輩方に追いつくのは大変なことだろうと思いますが、私も後輩の目標だと言われるような先輩になりたいと思います。

先輩方はこれから自分の目標や夢、そして未来に向かって進んでいかれることと思います。その中では高校では乗り越えられていた壁を、越えられないことがあると思います。もちろん楽しいこと苦しいこと悲しいこと辛いこと多くあると思いますが、この高輪台での仲間との絆と思い出、そして新しく得る仲間と共に、新しい世界で乗り越えてほしいと思います。

先輩方より一層のご健康とご活躍をお祈りしています。

新しい時代へ



網中 勝

後援会会長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、多くの友人と共に、思い出の深い時間を高輪台で過ごされたことと思います。楽しさも嬉しさも、また悲しみも苦しみも共有したと思います。これからは皆さんの時代です。皆さんには、「無限の可能性」という素晴らしい未来が待っています。是非、自信を持って、更なる自分の魅力をつけるべく、次のステップに向かって第一歩を踏み出してください。

これから、それぞれが、さまざまな方向へと進み始めます。新しい環境で、新しい友人と共に、次の自分の目標を探す道のりです。そして、もし辛いことにぶつかったら、時には立ち止まり、高輪台ですごした時間と、友達と先生方を思い出してください。きっと、暖かい気持ちになるはずです。少し休んで、そしてまた、歩き始めてください。

皆さんのご活躍を期待いたしております。

“基礎こそ改革”



土方 啓司

高輪会会長

ご卒業おめでとうございます。皆さんが卒業と言う形で学業を修了されるのは高校で3回目となりますが、そろそろ自分に合った分野かそうでないかが見えてくる頃と思

います。現代はコンピュータ万能の時代とも言われ文化までも変えつつあります。しかし、このコンピュータが半世紀少し前には世の中に初めて出た時は長さ30mを超えた程に巨大なものだったのをご存知でしょうか？それが今日、皆さんが手に抱えているノートパソコンはそれよりも遙かに高機能となっています。そこには端末の改良ではなく真空管が半導体になったような幾つもの基礎の改革があって初めて今日の形になったのです。皆さんもいずれは日本のそして社会の中核となる時代が来ます。その時のためにもこの数年間で学んだ基礎をしっかりと消化し、枝葉の改良に満足することなく「基礎を」「基礎こそ」を改革することによって次代を創造し実り多い人生を歩んでいただくことを願ってお祝いの言葉とします。おめでとうございます。

厳しい時代を乗り切るために…



竹中 輝夫

部活動後援会会長

卒業する皆さん、おめでとうございます。最初は高校を卒業する皆さん、大学生の就職にとって厳しい時代が続いているのはご存知ですね。就職内定率は5年ぶりに低下のニュース。この厳

さは当分続くとも言われています。そこで昨年と同様のお願いを今年もします。まだ先のことだと思わずに、自分の将来を思い描き、そのためには大学の4年間で何をすればいいのか、何を身につければいいのかを是非考え、実行してください。企業は会社に入って何をやりたいのかを明確な人を求めています。広いキャンパスで友人、先生と語り、遊びの時間もとりながら1年間じっくり考え、翌年から実行に移しこの厳しい時代を乗り切ってください。

さて中等部1期生である皆さん、中学時代にやり残したことはありませんか。皆さんは是非これからの3年間、色々なことにチャレンジしながら、自分の得意な分野を見つけてください。きっと明るい未来がありますよ。

3年間を高輪台で過ごして 親子の声

高校

娘の声

3年5組 十文字中学校出身 **西 麻子**

卒業を目前にして振り返ってみると、私の高校生活はとも充実していました。個性豊かな仲間や先生方に囲まれ、全く退屈することのない毎日でした。私は吹奏楽部に入学し、たくさんの仲間と生活しました。長い時には一日の半分以上を共にしてきた仲間は、家族のように大切な存在です。部活動では様々な所へ遠征し、たくさんの人との出会いを経験しました。日本だけでなく世界各地の人と音楽を共有できた感動は忘れられません。

私は昨年2月に行ったカナダの演奏旅行で日本と全く違う文化に感銘を受け海外で仕事をしたいと強く感じ、

HTICへの進学を決めました。英語関係の学部に進むつもりは全く無かった私がHTICに行くことは自分でも驚きですが、高輪台でのたくさんの出会いがあったからこそ進路だと思います。進路の決定を後押ししてくれた両親や先生方には本当に感謝しています。仲間や先生方はじめたくさんの方々に支えられ様々な感動や出会いを経験することができました。3年間本当にありがとうございました。



母の声

3年5組 西 麻子さんのお母さん **西 礼子さん**

思い起こせば始まりは吹奏楽でした。

吹奏楽をやりたくて高輪台に入学させていただき、どっぷりと部活動に浸かった3年間。私からすれば、あっと言う間に過ぎた高校3年間と感じていましたが、「長い3年間だった」と本人からは思いがけない言葉が…。決して平た

んな道のりではなかったでしょう。様々なできごと、多くの人との出会い、先生方やたくさんの友達に助けられながら乗り越えてきた今、学業のみならず、文字通り身も心も成長し、充実した高校生活を送らせていただきました。やり遂げた自信を胸にさらに前進してくれることを願います。3年間温かいご指導をいただき、ありがとうございました。

中等部

息子の声

3年A組 横浜市立下野谷小学校出身 **小林 直紀**

僕が中等部3年間を振り返って一番思い出に残っているのは、中等部だけで行った体育祭です。僕は赤組の応援団長として応援の曲や振り付けを団員の人達と一緒に考えたり実行委員の人達と得点板を作ったりして、放課後遅くまで残って頑張りました。また、でき上がった応援を下級生に教えるということも経験しました。体育祭当日は天気も良く、応援の成果を発揮できたから優勝できたのだと思います。この体育祭を通じてみんなと話し合ったり、時にはけんかをしたりしながら1つのことを成し遂げる達成感を味わうことができました。

これまで中等部3年間お世話になった先生方、職員の方々、たくさんの友達に感謝しています。春から高校生になりますが、これからもよろしくお祈りします。



母の声

3年A組 小林 直紀くんのお母さん **小林 有美子さん**

高等学校への内部推薦合格をいただき、制服の注文票を記入しながら「本当に大きくなったなあ」と実感しました。体格だけではなく、1期生として入学させていただき、充実した3年間を過ごし、内面をひとまわり大きくなっていると思います。「1期生」として入学させるのは期待と

不安との入り混じったものでしたが、「不安は毎日笑顔で帰宅する子供を見てあっと言う間に消え去りました。たくさんの友人に恵まれ、先輩方・先生方を初めとする関係者の皆様に支えられた結果ではないかと、心から感謝しております。

4月からは高校生としての新たな生活が始まります。これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2009年度第61回高校・第1回中等部卒業記念品を贈呈していただきました

記念品 ①特別注文展示ケース ②グラウンド整備用車

今年度も卒業記念品を贈呈していただきました。

「特別注文展示ケース」は、各部活動の活躍により今後各大会でいただくたくさんのトロフィーやカップ等を順次陳列させていただきます。「グラウンド整備用車」は、毎日練習する野球部、サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部、陸上競技部や体育祭、スポーツ大会、体育移動授業などが、安全に活動できるように総合グラウンドの整備に活用させていただきます。

これらの卒業生からの贈り物「卒業記念品」を感謝しながら使わせていただきます。

卒業生の皆さん、保護者の皆さん本当にありがとうございました。



建学祭記念品「顕微鏡」23台購入



生物顕微鏡
CX21N-21S(オリンパス)

2009年度の建学祭は、台風の大接近やインフルエンザの猛威により、すべての部分で大きく影響を受けました。生徒諸君の準備期間不足で、お客様が来ていただけるかなど非常に心配しましたが、5,849名もの方々が来校してくださいました。そして、好評のうちに終了することができました。例年行っております後援会主催の「バザー」や「けやきや食堂」から、今回は1,537,816円もの収益金を寄付としていただきました。「けやきや食堂」は、食券準備から食材の手配、調理、配膳に至るまで、また「バザー」は、夏休み前の早い段階から皆さんに呼びかけ提供品を集めることからスタートし、かなりの時間をかけ準備をしていただきました。本当に御苦労様でした。この場を借りて、感謝申し上げます。今年度は、いただいた収益金で理科教材であります「顕微鏡」を23台購入させていただきます。これからは、今までのものと合わせて、1人が1台の顕微鏡を使用できるようになります。毎年のごことではありますが、保護者の方々のご協力により、また一層の教育効果が期待できます。十分に活用させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。

2009年度「松前重義賞」受賞団体・受賞者決まる

文化活動やスポーツ、学術研究の各分野で優れた成績や業績を修め、社会的にも高い評価を得た学園の学生、生徒、児童、園児、教職員や卒業生らを顕彰する「松前重義賞」の2009年度受賞者が決まりました。本校関係者の受賞は以下の通りです。

松前重義賞・スポーツ部門 奨励団体賞

附属高輪台高校サッカー部

インターハイ都予選 準優勝
全国大会出場

松前重義賞・スポーツ部門 奨励選手賞

3年7組 澤 祐基

インターハイ都予選
84kg以下級 優勝

SHIP・カナダ中期留学

1月初めから約2か月間、高校3年生を対象にしたSHIP(ハワイ東海インターナショナルカレッジ中期留学)に3名、バンクーバーでホームステイをしながら語学学校とハイスクールで学ぶカナダ中期留学に6名の生徒が参加しています。その中間レポートをご紹介します。

留学生体験記 SHIP(ハワイ中期留学)

“We are OHANA (Family)”

松永 あずさ

3年4組 横浜市立東中学校出身

私たちはこのSHIPプログラムで日々英語を勉強し、日本では体験できない現地の文化に直接触れたたくさんの方を学んでいます。

2か月という長い海外生活はととても大変でつらいこともあります。このプログラムをよりよくするために30人の仲間たちと助け合いながら過ごしています。

授業は文法やスピーチなどの他に文化のクラスもあり、歌ったり踊ったりし、日本の授業スタイルとはまったく違います。そして現地の先生に授業を教わるので、英語を勉強するには素晴らしい環境だと思います。

私はSHIPに参加するかとても悩みました。私だけでなく多くの参加者が自分たちの大きな夢に近づくために勇気を持って参加することを決断したと思います。初めて出会っ

た仲間たちがライバルでもあり互いに刺激しあいながら自分たちの力を伸ばしています。この時期に素晴らしい環境とたくさんの仲間と一緒に勉強できることを私は誇りに思います。この経験を機に、もうすぐ始まる大学生活にむけ自分自身を成長させていきたいです。



勉強もフィールドトリップも充実したプログラムです!

留学生体験記 カナダ中期留学

新しい発見の日々

丸井 春奈

3年1組 川崎市立桜本中学校出身

私たち6人は1月1日から3月2日までの2か月間ホームステイをしながら語学学校に6週間、公立高校に2週間通っています。行く前は、バスを間違えずに乗れるか、自分の英語力で大丈夫なのか、ホストファミリーとうまくやれるかなど不安が大きかったのですが、それはまったくの杞憂でした。現地の人たちは皆親切で、私のつたない英語も意思を汲み取ってくれます。

語学学校では、様々な国の人々と交流することができ、今まで知らなかった文化や風習など英語だけではなく多くのことを学ぶことができます。例えば、中国の正月は2月にあるとか、「微妙な三角関係」や「30分間無料マッサージ」など日本語と韓国語には意味が同じで発音も似ているものがあるということなどなど、とてもここには書ききれない程度です。また、使う言葉や文化が違っても考え方や感じ方が

大きく違うわけではなく、「～人だからきっとこうだろう」という考え方がいかに間違っていたかを交流を通して知ることができました。

これを書いている時点ではまだ1か月もたっていませんが、毎日が充実し、とても楽しい生活を送っています。皆さんにも英語ができないからと諦めないで是非カナダ留学に参加してほしいと思います。



語学学校のラウンジにて

中等部 1 学年 だより

さらなる向上を

学年主任 笹木 春光

皆さん、1年間お疲れ様でした。あっという間に1年が過ぎ去ってしまったのではないのでしょうか。振り返ってみると、色々な経験をし、思い出もたくさんあることでしょう。

さて、1年前の自分と今の自分を比較してみて、成長し変化したところはどれだけあるのでしょうか。他人を思いやる気持ちは多く持てましたか。自分に甘い部分は少なくなりましたか。辛いことでも挫けず乗り越えられましたか。

江戸時代の剣豪・柳生宗矩は「われ人に勝つ道を知らず、われに勝つ道を知る」と語っています。勝負においては、他人よりもまずは自分に勝つ事が大事であるということです。勝負に限らず、大切なときに力を発揮できる人というのは、自分の弱い心に打ち勝つ強さをもつ人なのかもしれません。

己に克つ事を「克己心」と言いますが、来年度はこの「克己心」を忘れず、さらなる向上を目指してください。

そのときの出逢いが

A組学級担任 高橋 佑未子

教室の黒板に私のクラスで代々受け継がれる『相田みつを』さんの日めくりカレンダーがあります。相田さんの作品は、人間らしさ(弱い自分や甘え)を正直に表現しています。だからこそ、年齢を問わず私たちの心に深い感動をもたらします。私は、中学3年の春、高校受験に失敗し、失意のどん底にいたとき相田さんの作品と出逢い、「心機一転、新しい場所です新しい仲間と頑張ってみよう。」と心を救われました。

最初の学級通信に相田さんの『そのときの出逢いが人生を根底からかえることがある。よき出逢いを。』を掲載しました。これは、偶然高輪台に集まった仲間との出逢いを尊く思っほしかったからです。新しい仲間との出逢いを通して、あなたはどんな出逢いをしましたか?そして、どんな新しい自分に出逢いましたか?

人生の8%に触れて(8%÷1年／13歳)

B組学級担任 青木 直也

90名全員が大きな事件や事故もなく、無事に1年次を終了できたことを非常に幸せに思います。沢山の可能性を秘めたみなさんと過ごした1年は、ドラマのような日々でした。特にオリエンテーション合宿の3日間では、急速に変化していく姿にみなさんの成長の早さを感じました。共に成長することができた1年間を非常に嬉しく思います。しかし、成長できる部分は沢山あります。あと数日で先輩と呼ばれる立場になるのです。春の「飛躍」では「未来に向けて、6年間に無駄な時間はない」と書きましたが、残りは5年間です。人として、高輪台生として、さらに大きく成長することを期待しています。そして、その力を持っているのだから無駄にしないでね。

先入観をリセット

学年所属 弘中 裕美子

4月に運命的な出会いをした皆さん、仲間の第一印象はどうでしたか?第一印象で苦手と感じた仲間が今では親友になった人もいます。時間を共有することで苦手な人の良い所を見つけ、相手に対する見方が変わったのではないのでしょうか。大切なのは第一印象にとらわれず時間をかけてお互いを理解することです。これは他のことにもいえます。自分が苦手だと思っていることもやってみたら楽しかったり、自分の為になることだったりします。今年度1年間を振り返ってください。自分の先入観にとらわれて挑戦しなかったことはありませんか?進級を迎える前に自分の先入観をリセットし、新たな気持ちで挑戦していきましょう。

ゆく河の流れは…

学年所属 阿部 光夫

古典作品の「方丈記」という作品の始まりに「ゆく河の流れは絶えずしてしかももとの水にあらず」という有名な一節があります。「時間というものは絶え間なく流れ続けていて止まることがない。そんな中で人生というものを送っている私たち人間は、泡のようにはかないものである。」とその文章は語っています。そんなことは誰でもわかっている当たり前のことのように感じます。でも当たり前であるからこそ忘れてしまうということもあるのではないのでしょうか。時間は過ぎてしまえば取り返しがつきません。皆さんが過ごした中等部1年生の時間も1回限りの取り返しのつかないものです。そしてこれから経験する2年生の時間も…。そんなふうに「かけがえのない時間の積み重ね」で皆さんは大人になっていくわけですから、良く考えて納得のいく時間を過ごして欲しいと思います。

中等部2学年だより

4月に2年生になり、新しいクラスに不安を感じたり、後輩ができて先輩になったことを実感する日々から、あっという間に1年がたってしまいました。この1年の間に中等部体育祭や建学祭、English Summer Campなどさまざまな行事があり、そのなかで生徒たちはクラスの団結を深めてきました。1年間一緒に過ごしてきたクラスについて、各クラスの級長、副級長に語ってもらいました。

豊崎 倫代

2年A組 練馬区立光が丘第七小学校出身

私が級長として、2Aを振り返って思うことは、1人1人が活発的に活動できていたことです。例に挙げるなら、部活動です。陸上競技部、バスケットボール部、剣道部、ソフトテニス部など、たくさんの部活動でそれぞれ結果を残していました。とてもいいことだと思います。それに、中等部3年生が引退して、各部活動の部長としても頑張っていました。

今年1年、いろいろな場面で活発に行動できるようになりました。2Aというクラスで1年を終えることができよかったです。

酒井 理紗

2年B組 北区立滝野川第二小学校出身

4月から2年B組を振り返ってみて体育祭や建学祭などの行事を協力して頑張りました。

まず、体育祭では応援や大縄をみんなで協力して頑張りました。建学祭では、それぞれの班で作品をつくり当番制で教室で説明する仕事をみんな一生懸命頑張りました。合唱祭では初めはすごく声小さかったですが練習していくうちにみんな声がだんだん出るようになりました。

色々な行事をやっていくうちにだんだんみんなが協力するようになりました。3年生になっても協力していければいいと思います。



山形 綾香

2年A組 板橋区立志村第二小学校出身

中2になり、新しいクラスで最初はとても不安でした。しかし2Aのみんなはいい人ばかりで、すぐに不安はなくなりました。たまにうるさい時もありますが、体育祭や建学祭ではクラス全員が一致団結し大成功でした。私は2Aで本当によかったと思います。

石井 雛子

2年B組 板橋区立金沢小学校出身

3学年の中で最も気が緩みやすいと言われるこの学年で、私たちは私たちが成長できたと思います。もちろん、反省すべき点は多々ありますが、後輩ができ、先輩としての自覚が芽生えたと思います。来年は気の緩みなど指摘されないよう生活できればいいと思います。

西森 奏弥

2年A組 志木市立志木第二小学校出身

2Aを1年間振り返って思うことは、1年生のときよりも楽しかったことです。そして、まとまりがあった1年でもありました。1年生の時よりも副級長として頑張ることができました。クラスにも慣れて、話す機会も増えました。僕は2年連続で副級長をつとめることができよかったです。

飯田 亜海

2年B組 目黒区立油面小学校出身

2年B組になって早1年。本当にあっという間でした。はじめは1年生の時に別のクラスだった人と話すのに少し緊張していましたが、今では打ち解けています。先生に怒られることも多々ありましたが私はこのクラスでよかったと思います。3年生になって新しいクラスになっても頑張りたいです。



中等部3学年だより

中等部一期生もいよいよ卒業の時が近づいてきました。大きな制服に身をつつみ、本校の門をくぐってきた頃がついこの間のようです。中等部一期生ということでいろいろ学校も本人達も初めて尽くしてでしたが、83人みんな協力して、仲良く3年間を過ごしてきました。数日後の卒業を目前に彼らはどのようなことを想っているのでしょうか。

卒業という実感

竹内 智哉

3年A組 川崎市立古川小学校出身

推薦入試も終わり、いよいよ高校生という時期になってきました。それと同時にもう卒業です。最近までは卒業するという実感はあまり湧いてこなかったけれど、HRや授業で先生方の話を聞いてると必ず1回は、「卒業」や「高校生」といった言葉が出てきます。授業内容も今までの復習や応用などを勉強しているので段々と「もうすぐ卒業するんだ」という実感も湧いてきました。残り少ない中等部生活を高校へ上がるための準備など有意義な時間として過ごしていこうと思います。

卒業を目前にして

西堀 つくし

3年B組 川口市立飯仲小学校出身

卒業を目の前にして思うことは、この中等部で過ごした3年間はとて早かったということです。一番印象に残っていることは1年生のオリエンテーションです。入学したばかりで、まだ話したことのない友達と泊まるということに驚きました。けれど、「この仲間と3年間過ごしていくんだ」と楽しみでもありました。そして実際に3年間を過ごしてみて、本当に充実した楽しい3年間でした。時にはケンカをすることもありました。いつでもまた仲良くなりました。

中等部3年間で共に過ごした仲間はみんな一緒に高校に上がりますが、クラスはバラバラになってしまいます。けれど、これからも今まで通りみんな仲良くしていきたいです。

思い出の年

安井 秀斗

3年A組 板橋区立紅梅小学校出身

僕が中等部生活の中で一番印象深い年は、中等部3年生の年です。今年は僕の中で非常に充実した年でした。行事では中等部初の中等部第1回体育祭が行われ、ニュージーランド海外英語研修旅行などがありました。勉強では、推薦入試や卒業試験など大きな試験がありました。また部活動でも3学年全てそろったことによりいろいろとやるが増えました。この中で僕が一番印象に残っていることは、中等部初の体育祭です。体育祭で僕たち中等部3年生男子は組体操をしました。組体操は非常に辛かったのですが、その中でも3段タワーがとて大変でした。しかしこの3段タワーにより僕たちの絆はより深まったと思います。この経験を生かし、高校でできる新しい友達とも仲良くできたら良いと思います。

☆テーブルマナー講習会☆

2月10日(水)中等部3年生はテーブルマナー講習会に参加しました。数日後のニュージーランド海外英語研修旅行に向けて、ナイフやフォークの持ち方、洋食の食べ方を学びながら食事を楽しみました。



デザートもおいしい～!



正しいグラスの持ち方できたよ



ステーキやパン…まだまだ出てくるぞ!

高校1学年だより

スポーツ大会

学年主任 高橋 昇

冬休み明けの1月16日(土)に、1年生は今年度2回目のスポーツ大会を挙りましたが、6月下旬に総合グラウンドにて実施した前回とは、いささか趣が異なるスポーツ大会と相成りました。

それもそのはず、1年生のクラス単位としては残り約1ヶ月であり、事実上、最後の学校行事ともいえるものであったからかもしれません。

スポーツである以上、当然のことながら、勝ち負けは明白です。その結果、勝敗に一喜一憂することも不可避のことではありますが、このスポーツ大会にはもうひとつのドラマが感じられました。試合に先立ち、「競技に参加することに一生懸命になるのではなく、競技に参加する友達の応援に一生懸命になる」よう進言しましたが、ひとたび競技が開始されるや、予想以上に、各クラス内では男女の枠を超越した微笑ましい応援合戦が繰り広げられました。「クラスメイトを応援することがスポーツ大会に参加する」ことであるかの如く、精一杯の応援風景のほうが競技そのものより、見る者を感動させました。

2年生になってもスポーツ大会は行われます。今度はどのようなドラマが待っているのでしょうか。



1年間、この「高校1学年だより」にお付き合いいただきありがとうございました。今回は、皆さんを激励すべく、最後のメッセージを寄せてもらいました。どうぞご覧ください。

1年を振り返り、どれくらい「初志貫徹」することができたでしょうか。次の1年に向け新たな目標を立てて頑張ってください。「自分のよさ(アレー)を磨き前面に出すこと」。

1組学級担任 **細田 功** 地歴公民

1年間で多くの経験をしたことでしょうか。2年目も“大きくて柔らかい器(=心)”で多くのものを受け止めて、自分の考え方に活かしましょう。私も器を用意して皆さんとの学校生活を楽しみにしています!

2組学級担任 **南館 由里香** 英語

昨年に引き続き最高に楽しかった1年間でした。どうもありがとう。2年生になってもみんな仲良く楽しい毎日になりたいです。よろしく!

3組学級担任 **川島 純一** 保健体育

もうすぐ、新しい学年が始まります。この機会にもう一度入学したころの気持ちを思い出しましょう。常に初心を思い出し、2年生になっても何事も全力でがんばりましょう。

4組学級担任 **橋 健治** 英語

より多くの読書をしてください。読書は人を成長させます。読書によって多くの出会いがあります。良い本があったら、私にも紹介してくださいね。

5組学級担任 **數馬 大介** 国語

高校生活1年目を終えて、自分の成長をどれほど感じていますか。実感がなくても、みんな必ず成長しています。そしてまだまだ伸びる余地あり。来年度もがんばりましょう。

6組学級担任 **山田 武範** 理科

あつという間の1年間で、高校生活もあと残り2年です。難しいことかもしれませんが、一日一日を大切に過ごして下さい。そして沢山の仲間と沢山の思い出を作りましょう。

7組学級担任 **山崎 一沙** 保健体育

新1年生の良いお手本になるように、勉強・部活動だけでなく何事にも一生懸命取り組んでほしいと思います。

8組学級担任 **大塚 一磨** 数学

高校1年生はどうでしたか? 自分に正直になって、良かったことも悪かったこともこれからの糧にしましょう。来年度も、「何とかなる」ではなく「何とかする」気持ちを大切に。

9組学級担任 **田村 英典** 数学

良い1年であったか、あるいはそうでなかったか、結局決めるのは自分自身です。自分にとってどんな1年だったでしょうか?

学年所属 **金子 真奈美** 国語

新しいクラスになったら、より「協力」が必要です。自分のことも大切に、クラスメイトのことはもっと大切に……。ぜひ素敵な2年生に!

学年所属 **宮脇 孝一** 公民

もう少しで1学年が終わる。この1年いろいろ反省することもあろうけれど、一生のどの1年も無駄な1年はない。しかし、伸びる勢いがある時期がある。君たちにとってまさしく今がそうである。勢いのある時には何をやっても伸びるが、時期を逃すと苦勞の方が多くなる。やらずに後悔する前にやりたいことがあれば思い切ってやってみよう。今がチャンスです。

学年所属 **石井 達人** 理科

高校2学年だより

100m走

学年主任 米谷 昭人

100mを走ってタイムを計測し、好タイムを出すことを目標に走るとします。その時皆さんは100mを走りきってそのまま止まらずにゴールを駆け抜け、110m位まで走ると思います。目標は100mを全力疾走して良いタイムを出すことですが、実際に走った距離は110mです。目標を立てて全力で行動すると、最初に掲げていた目標を越えてさらに上の場所にいることがあるということです。しかし手を抜いたり、いい加減な気持ちで行動を起こしたりすると、90mしか走らなかったり、50mしか

走れなかったりして自分の掲げた目標には届きません。全力疾走することによって自分の目標よりも少しプラスになって自分のためになります。タイムは人それぞれですので、自分なりの目標で結構なのですが、全力疾走するのとしらないのでは全く違います。

皆さんは様々な目標を掲げて生きていると思います。全力で目標に向かうか、手を抜いて目標に向かうかは皆さん次第です。全力疾走しましょう!!

きっかけ

7組学級担任 中村 春樹

昨年の1月1日から煙草を止めました。止めようと思ったのは、部活動を一緒にやろうと思ったとき年齢的、体力的に高校生と同じように動けるのはあと何年もないだろうし、やるなら自分の体力がベストな状態でやりたいと思ったからです。前々から止めよう止めようとは思っていたものの、自分の中で踏ん切りが付かなかったのは、「いつ」始めたらよいか?ということで迷っていたから

です。皆さんも何か特別なことがない限りは、「じゃあ、始めよう!」とはならないと思います。

今、高校2年が終わろうとしています。何かを始めるにはとてもよいタイミングだと思います。誰しも自分の嫌いなところや直したいと思っていることがあると思います。高校生としていられるのもあと1年です。この最後の1年のスタートから、何か自分に挑戦してみませんか?

7組の思い出



We are 7組



全力疾走!!

高校3学年だより



今を大切に

学年主任 江口 淳二

年を重ねると生活のパターンを変えたくなくなり、毎日同じような日常生活を繰り返すようになる。だから時間の流れを早く感じるようになる。一方、諸君のように若い世代は好奇心が旺盛で、色々なことに興味を持ち、じっとしているよりは活動的であるので年輩の人と比べると、同じ時間でもやる事が多く中身の濃い時間を過ごしているようである。だから充実しているぶんだけ時間を長く感じるのではないだろうか。通学途上で読書をしたり、音楽を聴いたり、車窓の風景を眺めたりすることで色々な経験を積んで欲しい。また、90分を短いと思うか、それとも長いと感じるかは個人差があるが、大学での講義をただ漠然と受け身で聴くのではなく、「何故そうなのか」という疑問を持ちながら常に「自分で深く考え」て真摯に受講してほしい。そうすることで大学の4年間に多角的な視野と深い洞察力が身につくであろう。そのためにも今を大切に充実したものにしてほしい。

1組学級担任

塚田 信哉

学生時代は、学力などが、最も大切のように思われがちだが、社会では、その人間の心の広さがとても大切です。大学でしっかり自分を磨いてください。「しあわせは、いつもじぶんの心がきめる。」

2組学級担任

大澤 泉

「人間は努力する限り間違えるものだ」とはゲーテの言葉だそうです。失敗を恐れしないでください。それはチャレンジしている証です。ただし、1つの失敗からでも多くを学ぶことを忘れずに。

3組学級担任

吉川 博人

卒業式が終わるまでにお世話になった人々に感謝の気持ちを行動であらわしましょう。そして、お世話になった校舎にも一礼して家路につけてください。人や物に感謝の気持ちを持つて大人になってください。それが幸せになる秘訣だと思います。

4組学級担任

石井 みなみ

君たちとは1年間しか一緒に過ごせなかったけど、とても充実した楽しい1年でした。本当にありがとう。3年間で得た経験、かけがえのない仲間は、君たちの人生の宝です。高校時代の経験を生かし、自分の道を切り開いて行ってください! 卒業おめでとう!

5組学級担任

長田 一水

5組は僕にとって初めての卒業生クラスです。この先、どれだけのクラスを持ち、何人の生徒と関わっても、この49人は僕にとってとても大切な49人です。そんなみんなが幸せな人生を送れるように、これからも見守っています!

6組学級担任

今井 貴志

これから君たちはあと何回の卒業を経験していくのだろうか? 4年後には大学を卒業して、いつかは仕事からも卒業して…。それでも君たちはこの高輪台での卒業式を忘れることはないはずだ。君たちの成長ぶりを見て、それを確信できた3年間でした。

7組学級担任

金 恵潤

卒業おめでとう。個性的な生徒が多くて楽しいクラスでした。みんなの素敵な笑顔が私の思い出です。これは本当です。この先、世界は広く、厳しいことも楽しいこともあります。新しいものをどんどん吸収して、視野の広い、素敵な笑顔を忘れない大人になってくださいね。また会いましょう!

8組学級担任

稲葉 哲之介

高校を卒業すると、大人の世界に近づくことになります。他人への思いやりと何かを目指す強い心を忘れず、自分自身が目指す大人の男性、女性になってください。期待しています。

9組学級担任

上松 未来

みんなと過ごした3年間。今振り返ればあっという間だったけれど、いろんなことがありました。この3年間は私の人生の中で最も濃い時間でした。9組のみんなには大変お世話になりました。ありがとう。そして、江口学年は最高の学年です!!

学年所属

橋本 衛

ご卒業おめでとうございます。「努力は必ず報われる」これから新たな勉強の始まりです。日々努力を忘れずに頑張ってください。皆さんの活躍を期待しております。

学年所属

松橋 敬一

卒業おめでとうございます。3年前にきれいな瞳を輝かせて本校に入学してきた皆さんが、それぞれの進路に向けて、明日は飛び立って行くのです。どんなにか嬉しいことと思います。どうぞ、喜びと感謝の気持ちを胸に、初心を忘れず、新たな将来を切り開いて欲しいと思います。

学年所属

若井 牧夫

人生にゴールなし。日一日が変化の連続。どのように君たちが変わっていくか楽しみです。卒業おめでとう。

学年所属

若林 政和

4月より新たな生活がスタートします。どんな仕事にも通用する特技をつくり、磨き続けることが大切。そのために毎日を、情熱をもって過ごしているかどうかです。高輪台卒業であることを誇りにして進んでください。

1日看護体験

毎年、高校2年生の希望者を対象に東海大学付属病院で、1日看護体験を行っています。今年度は、12月19日に5名、1月16日に5名、計10名の生徒が東海大学医学部付属東京病院で看護体験をしてきました。1日だけの体験でしたが、生徒たちは看護師の仕事の厳しさを感じていました。



1日看護体験を終えて

徳永 晴香

2年8組 横浜市立日吉台西中学校出身

私は今回初めて看護師さんの仕事を体験させていただきました。中学生の時、祖父がとても病院にお世話になっていたの、病院の雰囲気や看護師さんがしてくださったことは、何となくは理解していました。でも、いざ看護師さんの仕事を体験させてもらって予想以上に大変で正直驚きました。

今回は寝たきりの患者さんの病室を担当しました。患者さんは自分でお風呂に入ることができないので、看護師さんが清潔ケアというものをします。私も一緒にやらせていただきました。しかし、すぐ肩がこって腰も痛くなってしまい情けなかったです。でも、その隣で一緒にやっていた看護師さ

んは手を休めることなくやっていました。それに、患者さんに優しくいろんなことを話しかけていて、改めて看護師さんってすごいなと思いました。

たった1日で看護師さんの仕事が全部わかったわけではありませんが、いろいろな体験をさせていただきました。改めて、看護師さんの仕事が忙しく大変だということが感じられました。でも、患者さんが笑ってくれたり、話しかけてくれたりした時、疲れが飛ぶくらい嬉しかったし元気になりました。やりがいを感じる仕事だと思いました。この体験を通して、今まで以上に看護師になりたいという気持ちになりました。体験させていただきありがとうございました。

TOKAI キャンパスメッセージ

原子力を学ぶ

工学部エネルギー工学科主任教授 大江 俊昭

東海大学は2010年度より、「エネルギー工学科」を「原子力工学科」に名称変更します。なぜ、今、原子力なのか。その理由は、石油が将来入手困難になると予測されることや、地球温暖化対策として二酸化炭素を放出しないエネルギー源が求められていること、です。しかし、原子力は「危ない」というイメージを持つ人も少なくありません。大きな事故も過去にありました。そして多くの国々が原子力から撤退し、人材と共に技術も衰退して行きました。そのなかで、日本は40年以上に亘って安全を目標に努力を続けており、原子力を再び見直そうという機運の今、その基盤技術が世界から注目を浴びています。

1956年に我が国最初の原子力教

育に着手した東海大学は、先駆けの自負を持っています。原子力は「危ない」イメージが先行しがちですが、知識と技術を持つ専門家が扱えば決して危険ではありません。そして、原子力エネルギーを安全に、安定して供給する人材を養成することが、本学科の目的なのです。

学科の特徴の一つは、専門資格の取得を強力にサポートしていることです。決して絵に描いた餅ではありません。それは、最も難関とされる国家資格の「第一種放射線取扱主任者試験」では、この2年間の学科生の合格率は全国平均の約2倍という実績を見てもお判りいただけるでしょう。専門資格を持つことで仕事の幅を大きく広げることができます。

原子力分野を支える人材は、エネルギーを支える人材といっても過言ではありません。我々学科スタッフは、日本の優れた技術で“世界中の人々の暮らしに貢献する”という誇りを持って教育活動を続けています。



原子炉実習風景

お知らせ

付属高校生のための東海大学オープンキャンパス

■日時 3月13日(土)(高校2年) ■場所 東海大学湘南キャンパス

付属高校生のためのオープンキャンパスが開催されます。当日は、学生による歓迎アトラクション、付属高校出身者から大学生活について話があり、その後学科別説明会(体験講座)を2回予定しています。

2年生にとっては進路決定の最終段階ですので、当日の体験講座等を真剣に受講して、自分の志望先を決定するための参考にしてほしいと思います。

関東近県SSH合同発表会

■日時 3月21日(日)9:00~16:00 ■会場 東海大学付属高輪台高等学校

関東地区および近県におけるSSH12校の生徒たちがそれぞれの研究報告を発表します。相互の情報・意見交換を行い、今後の活動をより充実させます。

保護者の皆様をはじめ、多くの皆様のご参観をお待ちしています。

行事予定

March 3月

April 4月

- 2日(火) 後期末試験(中1、中2、高1、高2)(~5日まで)
- 5日(金) 3年生を送る会
高輪台入会式(高3)
- 7日(日) 中等部 第1回卒業証書授与式(10:00)
高校 第61回卒業証書授与式(10:00)
卒業祝賀会(14:30)
- 8日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 9日(火) 採点日(高校生徒休業日)
- 10日(水) 答案返却日、教科書販売(新中3、新高3)
- 11日(木) 生徒休業日
- 12日(金) 成績不振者指導
- 13日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高2 湘南校舎)
- 15日(月) 修了式、離任式、教科書販売(新中2、新高2)
- 18日(木) 基礎力判定テスト結果補習(高1、高2 ~25日まで)
希望者講習(中1、中2 ~25日まで)
- 20日(土) 後援会委員総会
- 21日(日) 春分の日、関東近県SSH合同発表会
- 22日(月) 振替休日

- 1日(木) 新入生登校(中1、高1 13:00)
- 2日(金) 中等部 第4回入学式(10:00)、高校 第67回入学式(10:00)
- 5日(月) 前期始業式、対面式、就任式
- 6日(火) 中1 校内オリエンテーション、健康診断、写真撮影
高1:オリエンテーション 高3:健康診断、写真撮影 中2、中3、高2:臨時休業
- 7日(水) 中1:オリエンテーション合宿(三保研修館 ~9日まで)
高1:オリエンテーション 中2、高2:健康診断、写真撮影 中3、高3:臨時休業
- 8日(木) 中3、高1:健康診断、写真撮影 中2、高2、高3:臨時休業
- 9日(金) 授業開始(中2、中3、高校)
- 12日(月) 外部実力試験(中等部)、学園基礎学力定着度試験(高校)
- 13日(火) 中1 授業開始
- 14日(水) 生徒個人面談開始(中高 ~5月7日まで)、専門医によるカウンセリング
- 15日(木) 学年集会(中3)、進路説明会(高3、1限)
- 16日(金) 新入生仮入部期間終了(高校)
- 17日(土) 保護者会(中1、高1)
- 19日(月) 体育移動授業開始(中高 ~5月17日まで)
- 20日(火) 校医相談日
- 22日(木) 学年集会(中2、高2)
- 23日(金) 新入生仮入部期間終了(中等部)
- 24日(土) 保護者会(中2、中3、高2、高3)
- 29日(木) 昭和の日
- 30日(金) 木曜日の授業

最後の部活動



編集後記

朝青龍が引退した。しかし引退のニュースよりも驚いたのは、なんと幕内力士の4割が外国出身という現実だ。角界に限らず、日本で働く外国人の増加には目をみはるものがある。かつていわゆる3K(きつい・汚い・危険)といわれる職種に多かった外国人労働者は、近頃では看護・介護の分野にまで進出し、90万人に達する。いま大切なことは、日本の文化や伝統を守るために彼らを排除するのではなく、多様な文化・伝統を認め合う日本人の意識の「内なる国際化」ではなからうか。それにしても、高校や大学を出ても職に就けない日本の若者たちが海外へ出稼ぎに渡る日がくるのもそう遠くない気がするのだが…(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>